

横浜市議会

## 無料福祉パス維持を

### 白井市議が有料化案を批判

横浜市議会がこのほ  
います。

ど、日本共産党の白井まさ子議員は、利用者負担金導入が計画されている福祉特別乗車券（福祉パス）制度の現状維持を求めました。

福祉パスは、障害者が市内のバスや地下鉄を無料で利用できる乗車券です。現在は無料で交付されていますが、今議会に提出された条例案では年額1800円の負担となつて

白井議員は、負担金導入について、「扶助費増額を抑止したい意向が明白」と批判。

市が条例の提案理由を「障害者等の福祉の増進を図るため」としていることについて、交付対象を軽度知的障害者に広げるとはいえ、利用者負担金を導入し有料化することのどこが福祉の増進なのか、と迫りました。

林文字子市長は、今回

の見直しで軽度の知的障害者も新たに対象とすることができ、今後も安定してサービスが提供できることが福祉の充実につながると答えるにとどまりました。